



ご 挨拶

会長 伊藤 豪(D41)

緑会会員の皆様には、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、緑会の事業、運営に一方ならぬご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の経済状況は、アベノミクスによる追加金融政策の実施・過去最大規模の予算編成・日本産業再興プラン・地域支援産業育成により円安、株高で推移し、輸出型の大企業は、軒並みリーマンショック以前を越えるような、高利益を出しているようです。

一方、社会の話題としては、異常気象・現象が次々に起こった年でした。広島土砂崩れ、御嶽山の噴火、長野での地震など、各地に大きな人的・物的被害をもたらしました。明るい話題としては、近代工場の幕開けとなる先進的な「富岡製糸場」が世界文化遺産に登録された事、青色LEDの発明で赤崎氏、天野氏、中村氏の3名がノーベル物理学賞に輝いたことです。そのうち2名が愛知の大学での出身であり、当地域の研究開発、技術開発が世界的に評価されたものであり、大いに勇気づけられました。愛知の将来を見据えたビッグな話題としては、リニア中央新幹線の着工・MRJの大量受注・燃料電池車「みらい」の量産化などがあり、このままの良

い景気が続くのを願っています。

そうした中、緑会では平成26年6月に開催されました総会で承認されました事業は幹事長初め役員の皆様方、学内幹事の諸先生方のご支援により滞りなく進めて参りました。

特に、3月17日(火)に行われました「キャリアサポート交流会・懇談会」は、今年から企業の説明会が3月からに変更されたため、どのような様子になるのか不安でしたが、企業57社107名(うち緑会OB 40名ほど)、学生211名の参加を頂きました。交流会では、企業紹介のポスターを中心に企業説明者と学生が直に話し合う場を設け、2時間30分の間、会場は、熱気で溢れかえっていました。交流会後は、会場を移し、企業関係者・教員・緑会OBの「懇談会」を約2時間行い情報交換・親睦を深めました。関係各位の皆様有難う御座いました。本年6月20日(土)に開催されます「緑会講演会・総会」も新たな企画を立てて、皆様の情報交換の場・懇親の場にして頂きたいと思っています。奮って御参加くださいますようお願い致します。

結びと致しまして、今後とも緑会に指導、御支援、御協力賜りますようお願い申し上げますと共に皆様方の御健勝・御多幸をお祈り申し上げ挨拶とさせていただきます。



ご 挨拶

幹事長 大橋 聖一(D45)

緑会 幹事長 3年目を努めています大橋聖一(D45)です。初めに、伝統ある緑会の活動に、ご援助戴いてる大学の先生方、及び適切なご助言をいただいている卒業生の皆様に感謝いたします。同窓会活動は、なるべく幅広い卒業生が参加出来るのが理想と思っています。

その中で本年6月20日(土)に開催予定の緑会総会に、皆様のご出席をお願いします。懇親会も無料でやりますので、駆けつけて戴ければ、同窓会の雰囲気を楽しんで下さるものと思慮します。

同窓会の運営委員の年齢も高齢化しており、ぜひ面倒がらずに運営委員に立候補お願いします。

卒業後、いろいろな経験を積まれた皆様の貴重な経験を総会の場で発表される講演会も、中身の濃い内容で役に立つものと考えます。

中にはノーベル賞候補の講演も行われています。身近な皆様の興味を持ちそうな題材も提供いただけると助かります。宜しく申し上げます。

ご 挨拶

生命・物質工学科 副教育類長 青木 純

緑会の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本学、本学科へ多大なご支援をいただき厚く御礼申し上げます。この度、平成27年度の副教育類長を務めることとなりました。昨年度は就職担当として緑会の皆様には大変にお世話になりました。同窓会の存在意義を肌で感じた一年でした。お陰様で本学科卒業生のほぼすべてが就職でき、すでに社会人としてスタートしていることと思います。今後、彼ら彼女らが社会の各所で活躍し、母校の求人に来てくれることを期待しております。

さて、平成16年の法人化により誕生した生命・物質工学科は今年度が最後の年となり、来年度から「生命・応用化学科」に生まれ変わります。同窓会の方々にとってはなじみ深い「応用化学」の名称が復活されることは嬉しい限りであります。改組に当たっては学部4年制だけでなく、学部・大学院を合わせた6年制が新しい試みとしてスタートします。是非緑会の皆様のお力をお借りしたいと存じます。

学科内の近況をご報告いたしますと、23年間に渡り本学科の教育研究活動に多大な貢献をされてこられた増田秀樹教授が3月末をもってご退職されました。退職後もプロジェクト教授として名工大に残られ、ご活躍されます。平成24年度から続いた定年延長が今年で一区切りし、昨年度は昇進人事3件、新規採用1件が行われました。高分子化学分野の水野稔久助教が10月1日付で准教授に昇進され、無機化学分野で本学卒業生である石井陽祐助教が1月1日付で名古屋大学より赴任されました。4月からは分析化学分野の安井孝志助教と物理化学分野の山本靖助教がそれぞれ准教授に昇進されました。昇進・新任の若い教員によって本学科が活性化されることは大変喜ばしいことと存じます。これからのさらなるご活躍を祈念しています。

最後になりましたが、緑会の皆様のご健康とご発展をお祈りし、またこれからも学生だけでなく我々教員にも末永くご指導をいただきますようよろしくお願い申し上げます。



平成27年度就職担当よりのご挨拶

生命・物質工学科 副教育類長(就職担当)

名古屋工業大学キャリアサポートオフィス長 山下 啓司

緑会会員の皆様方、本学学生の就職に置きましては、多大なるご支援を承りまして誠にありがとうございます。OB・OGの皆様方のご健闘があってこそその名工大生の就職事情があります。平成19年度より本学キャリアサポートオフィス長として、本学学生のキャリア形成・就職支援を行ってまいります身にとって、皆様のお力をひしひしと感じている次第であります。

アベノミクスの恩恵はこの東海地区のものづくり産業を活性化させており、特に大手メーカーの採用意欲はリーマンショック以前の力強さを感じさせるものがあります。しかしながら、2016春入社 of 学生たちより、その採用システムに大幅な変化がありました。文系出身のお上により机の上で考えられた、学生たちの就職活動を短期化させるための採用開始時期の後ろ倒しです。しかしながら現実には目論見とは正反対の超長期化が起こっております。すなわち、後ろ倒されたことに焦りを感じた大手企業がインターンシップを重視・開催

し、M1の六月から既に前哨戦が始まり、四ヶ月後ろ倒された八月からの面接開始は形骸化され、中堅・中小企業では後ろ倒しを無視して従前通りの採用計画を通しているところも多くあり、かといって大手企業は八月一日まで内定を出せない状況です。つまり学生たちはM1の六月に始まった就活が八月一日まで終わらないのです。

こんな流れの中、そんな悪状況を逆手に使い、大学全体での推薦制度の復活を画策しております。特に化学系においては形骸化し、リスクのみが目立っていた推薦制度を身のあるものへと改善することを考えております。推薦状を持たず学生を企業採用に決めさせようという改革です。ご期待ください。

最後になりましたが、緑会の皆様方が好景気に沸く産業界で光り輝くご活躍をなされることをお祈りして挨拶に代えたいと思います。

◇◇◇ 東京支部だより ◇◇◇

東京支部長 鈴木 満雄 (D45)

この度岡本様の後を継ぎ、東京支部長になりました。皆様には更なるご協力をお願いすることになります。宜しくお願ひ申し上げます。

以前より、緑会東京支部は、名古屋工業会東京支部各組織において重要な役割を担っており且つ各行事にも積極的に参加しております。これもひとえに諸先輩が基礎を築いて頂いたものと感謝しています。今後もこの姿勢を引き継いでいきたいと思っています。

昨年の名古屋工業会東京支部総会におきましても、一昨年同様に各単科会の中でもっとも多くの出席者でした。しかし

ながら全体の出席者は横ばいの状況が続いており、この状況を打破することが支部全体の問題となっています。昨年後半、いかに魅力ある総会にするか、緑会が中心になって活動を開始しました。今後に期待したいと思います。

一方、緑会の会員増加も重要課題です。今年度より、幹事長を含め各役員の若返りも図りましたので、学年幹事の充実等検討して行く予定です。又、昨年行ないました学年幹事の皆さんとの親睦会も定着させて行こうと思っています。

今後も、緑会本部及び名古屋工業会東京支部とも連携してより一層の活動をして行く所存です。

◇◇◇ 近畿支部だより ◇◇◇

近畿支部長 末利 鏡意 (D41)

近畿支部は、大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山の2府4県をカバーしており、会員数は2000名を超えていると推定しています。

大学連携室との提携により、現在の皆様の正確な動向を把握できることを期待しています。

また、名古屋工業会大阪支部においても、緑会の役員が、各種の役職を務めており、多大な貢献をしています。

以下に活動を紹介します。

①支部総会

2015年7月11日(土)に、大阪駅北の弥生会館にて開催します。名古屋からは本部役員、現役の教授をお招きして、皆様との歓談の場を設定しますので、皆様方には積極的なご参加をお願いします。

②幹事会

緑会役員にて、毎年数回の幹事会を行って、活性会員を増やす魅力ある会とすべく検討を行っています。

③つれづれ草の会

「つれもって色々なものを見に行こう、やってみよう」との精神でアミューズメントを中心に開催しています。ぜひ、参加をお願いします。(例：酒蔵見学、コンサート、高校野球見物など)

④名古屋工業会大阪支部への参画

学科の再編成に伴って、母体が揺らいでおり、積極的に大阪支部の各種役員として参画し、歴史探訪や企業訪問など各種の事業を推進しています。なお、近畿地区在住もしくは勤務の方で、同窓会活動に参加を希望される方は、遠慮なくご連絡ください。

連絡先：副支部長 西川嘉一 あて

携帯：090-9256-0308

メール：fwpg0181@mb.infoweb.ne.jp

新任教員紹介

就任挨拶

石井 陽祐

2015年1月1日付けで生命・物質工学科の助教として着任いたしました石井陽祐と申します。

私は2005年に本学の生命・物質工学科に入学してから9年間、学生として多くの先生・先輩方にご指導いただいて参りました。昨年3月に博士の学位を取得後は研究員として名古屋大学に所属していましたが、今回再び名工大で研究する機会が得られたことを心からうれしく思います。また同時に、教員として教育を行う側の立場に変わり身の引き締まる思いです。まだまだ未熟な点が多々あることと存じますが、母校

である本学の更なる発展に寄与できるよう、日々努力してゆきたいと思っています。

私は多孔質炭素をベースとしたエネルギー貯蔵・変換材料の研究、具体的には電池やキャパシタに代表される蓄電デバイスの電極材料の開発等を行っております。この研究を通して産業界の役に立つ高性能な材料の実現を目指すと同時に、大学という環境で行う研究として、その背後にある基礎的な現象や機能発現のメカニズム等についても、しっかりと追求して行きたいと考えています。

緑会の皆様におかれましては、今後とも更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成26年度卒業生就職先一覧

●博士後期課程●

小西化学工業(株)、日本農薬(株)、大塚製薬(株)

●博士前期課程●

(株)日本触媒、トヨタ紡織(株)、中部電力(株)、(株)LIXIL、
日立化成(株)、化成工業(株)、JXエンジニアリング(株)、シャープ(株)、
アイシンAW(株)、三菱樹脂(株)、(株)植屋、三菱自動車(株)、
矢崎総業(株)、NOK(株)、東洋エンジニアリング(株)、竹本油脂(株)、
日本特殊陶業(株)、日本ペイント(株)、帝人(株)、JSR(株)、DIC(株)、
コバレントマテリアル(株)、北川工業(株)、YKK AP(株)、
関西ペイント(株)、アイカ工業(株)、ニチバン(株)、中部地方整備局、
住友電装(株)、ユニ・チャーム(株)、(株)トクヤマ、
ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)、高砂電気工業(株)、
(株)キャタラー、ソニーイーエムシーアイ、長瀬産業(株)、

三和油化工業(株)、凸版印刷(株)、大日本印刷(株)、(株)リコー、
太平洋工業(株)、東海ゴム工業(株) (現：住友理工(株))、リンナイ(株)、
新田ゼラチン(株)、(株)パロマ、ホーユー(株)、(株)デンソー、
セメダイン(株)、赤磐市役所、住友精化(株)、花王(株)、旭化成(株)、
トヨタ自動車(株)、ライオン(株)、(株)JCU、セイコーエプソン(株)、
兼松(株)、ユシロ化学工業(株)、常盤産業(株)、(株)アドマテックス

●第一部●

玉野化成(株)、林テレンプ(株)、関西熱化学(株)、アイシンAW(株)、
CKD(株)、イビデン(株)、(株)八神製作所、高砂電気工業(株)、
リンナイ(株)、菱電商事(株)、矢崎総業(株)、ホーユー(株)、(株)パロマ、
(株)デンソー、トヨタテクニカルディベロップメント(株)

●第二部●

名古屋市役所

平成27年度 緑会総会のご案内

緑会総会・講演会を下記のように開催いたします。
同窓生をお誘い合わせの上、ご参加ください。
今回も多くの方にご出席いただけるよう、懇親会会費は無料といたします。
準備の都合上、ご出席のご連絡は、6月8日(月)までをお願い致します。

記

日 時 平成27年6月20日(土)14時より
場 所 名古屋工業大学2号館1階0211(旧F1)教室
○総 会
○大学近況報告
○学術講演
題目「公設試としての取り組みと事例紹介」
講師 平野 幸治 氏 (工業化学科昭和53年卒)
名古屋市工業研究所 所長
○懇親会 生協1F大食堂 16:30 - 18:00
連絡先 学内幹事 midori@ach.nitech.ac.jp

名工大、緑会、工業会ホームページの紹介

最新の情報をホームページに掲載しております。

名工大HP : <http://www.nitech.ac.jp/>
緑会HP : <http://www.ach.nitech.ac.jp/~midori/>
名古屋工業会HP : <http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

住所変更などの連絡は以下をお願いします。

e-mail : renkei@adm.nitech.ac.jp
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 卒業生連携室